5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・フロッピーディスク　・光磁気ディスク（MO）　・ネットワーク（LAN）サーバ

・増設ハードディスク　・CD-R/RW　・DVD-RAM　・DVD-R/RW　・DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windowsには、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Windows98SE/98にて130GB以上のDIU2-Bシリーズを出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します（Windows98SE/98の仕様です）。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1パーティションのサイズを130GB以下に変更してご使用ください。
- Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- 最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

NTFS 形式でのフォーマット（WindowsXP/2000 のみ）

ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

⚠注意
- **本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
  ※ダイナミックディスクについては、 Windows のヘルプを参照してください。
- **マルチブート環境などで他の OS からアクセスする場合は、NTFS 形式でフォーマットしないでください。 他の OS からはファイルを参照できません。**
- **以下の説明では、 Windows2000 の画面を使用しています。**

1 **WindowsXP/2000を起動し、コンピュータの管理者権限があるユーザーでログオンします。**

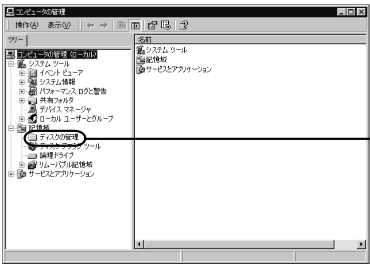
2 **デスクトップにある ［マイコンピュータ］ を右クリックします。**

WindowsXP の場合

［スタート］ をクリックし、［マイコンピュータ］を右クリックします。

3 **メニューが表示されたら ［管理］ をクリックします。**

4



［ディスクの管理］ をクリックします。

次のページへ続く

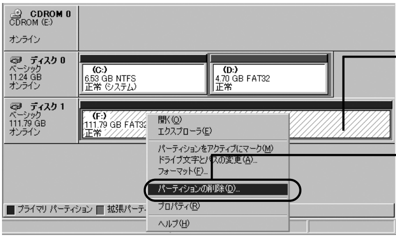
5



本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスクの中身がすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

6



① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

② [パーティションの削除]をクリックします。

7 **「パーティションを削除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。**

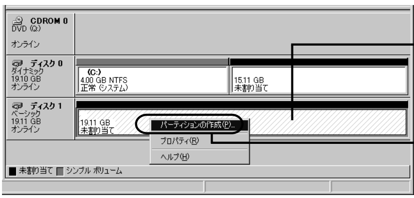
パーティションが削除されます。

8



未割り当て領域が表示されます。

9



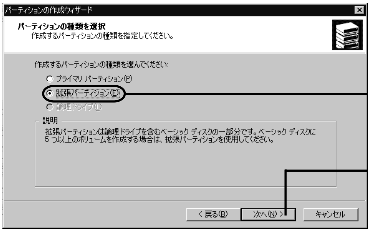
① 未割り当て領域を右クリックします。

② [パーティションの作成](WindowsXP の場合は[新しいパーティション])をクリックします。

次のページへ続く

10 ［パーティションの作成ウィザードの開始］(WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの開始]）と表示されたら、[次へ]をクリックします。

11



① ［拡張パーティション］ をクリックして（・）を付けます。

② ［次へ］ をクリックします。

12



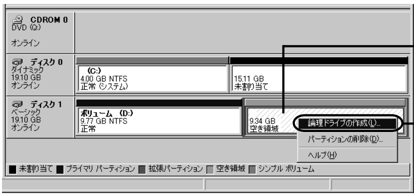
① ［使用するディスク領域］ でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します)。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］ をクリックします。

13 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了]）と表示されたら、[完了]をクリックします。

14

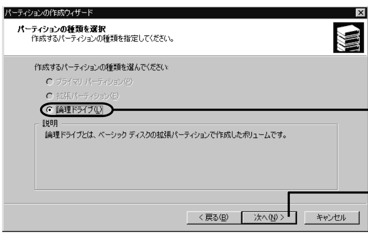


① 空き領域を右クリックします。

② ［論理ドライブの作成］(WindowsXP の場合は[新しい論理ドライブ]）をクリックします。

15 [パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの開始]）と表示されたら、[次へ]をクリックします。

16



① ［論理ドライブ］ が選択されていることを確認します。

② ［次へ］ をクリックします。

次のページへ続く

17



① ［使用するディスク領域］ でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します）。

※ サイズを変更する必要がない場合は、 初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］ をクリックします。

18

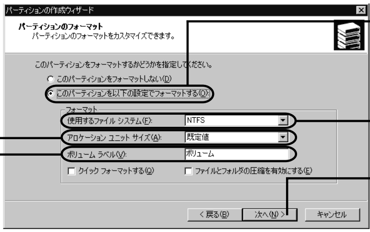


① ［ドライブ文字の割り当て］（WindowsXP の場合は[次のドライブ文字を割り当てる]）をクリックし、ドライブ文字を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、 初期設定のままにしてください。

② ［次へ］ をクリックします。

19 フォーマット形式などを設定します。



① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする］ をクリックし、（•）を付けます。

② ［NTFS］ を選択します。

③ 各項目を設定したら、 ［次へ］ をクリックします。

必要に応じて ［ボリュームラベル］ を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］ は特に問題のない限り、 初期設定のまま使用します。

⚠注意 **本製品にパーティションが1つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。 チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了しません。**

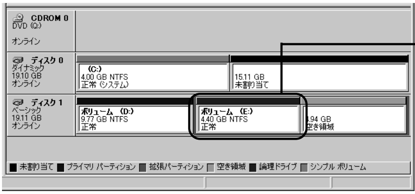
次のページへ続く

20 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了]）と表示されたら、[完了]をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

21



フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。［OK］をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ］をクリックします。

注意 ［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 17 でサイズを指定し、以下手順 21 までを作成する数だけ繰り返します。

Disk Formatter のアンインストール（Windows）

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

1 ［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［DISK FORMATTER］－［アンインストーラ］の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatter のアンインストールは完了です。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

準拠規格		USB Specification Rev2.0 IEEE 1394
コネクタ		USB　　　：USBコネクタ　シリーズB×1 IEEE1394 ：1394コネクタ4ピン×1 IEEE1394 ：1394コネクタ6ピン×1
最大転送速度（理論値）		480Mbps（USB2.0※）／12Mbps（USB1.1）／400Mbps（IEEE1394）
出荷時フォーマット形式		FAT32（1パーティション）
最大消費電力		17W以下
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80％（結露なきこと）

※本製品を、USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度480Mbps理論値）で使用するには、弊社製USB2.0対応インターフェース（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。

5

付録

ハードディスクの破棄・譲渡時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全に消去されていません。破棄や譲渡の際にデータが流出するおそれがあります。ハードディスクを破棄・譲渡するときは、以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去することをおすすめします。

DataGone(PowerQuest社製 販売株式会社ネットジャパン)
詳しくは http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご参照ください。

※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますのでご注意ください。

DIU2-Bシリーズ ユーザーズマニュアル

2003年1月24日 第2版発行
発行　　株式会社メルコ